

このニュースリリースは、「変革と創造」に取り組む千葉県の、重点施策への取組やイベントなどを主にメディアの皆様向けにお知らせするものです。お問い合わせは、報道監報道グループ・各記事末尾の担当までお願いします。



千葉県総合企画部報道監（報道グループ）
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1
電話 043-223-2061（佐久間）
FAX 043-225-1265
Eメールアドレス chiba-news@mz.pref.chiba.jp
千葉県ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/>

公共事業のあり方を変える「千葉モデル」 / 三番瀬再生計画

『三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）』（岡島成行会長・大妻女子大教授）は1月22日、三番瀬の再生計画案を決定し、堂本千葉県知事に提出しました。計画案は、徹底した住民参加と情報公開により行う政策提言型の「千葉モデル」方式で円卓会議が作り上げた、これまでの日本の公共事業の手法を変える画期的なものです。計画案を受け取った堂本知事は「（計画案の取りまとめに）努力してくれた皆さんに感謝します。可能な限り再生計画案を尊重して、出来る限りの努力をしたい」旨を表明しました。



三番瀬は、東京湾の最奥部に残された貴重な干潟・浅海域です。平成13年の知事選後、予定されていた埋立計画が白紙に戻され、翌14年1月、円卓会議が設けられました。会議への参加者は様々で、生態系などの専門家、地域住民、漁業関係者、環境保護団体などが委員となり、国や市・県がオブザーバーとして会議に加わりました。ほとんどの場合夜間に行われた会議には毎回多数の傍聴者が集まり、時には激しい議論が交わされました。2年の歳月と163回の会議や委員会、各種の現況調査、延べ6000人余りの参加者の粘り強い努力によって計画案がまとめられ、三番瀬の再生計画は具体的な再生に向けてスタートをきります。

【三番瀬再生計画案の概要】

計画案は、第一章「再生の基本的な考え方」、第二章「再生のために必要な項目」、第三章「課題」、第四章「提言」の四つの章から構成されています。第四章の提言では、三番瀬の自然再生のために、実施に向けて検討すべき具体的な課題として、



1 三番瀬の自然再生のための具体的施策（7項目）

- ・行徳湿地への淡水導入や三番瀬との連絡水路の開渠化、市川市塩浜2丁目護岸の一部撤去とその陸側区域の湿地化、ふなばし三番瀬海浜公園周辺の海と陸との自然的連続性の確保など

2 人と自然の共生を実現するための具体的施策（10項目）

- ・持続可能な漁業に向けた検討の推進、海岸の眺望スポットや水に触れる親水スポットの設置など、を挙げるとともに、これらの課題への取り組みを制度的に保障するために、**三番瀬再生保全利用条例の制定**を提言しています。

ホームページ：http://www.pref.chiba.jp/syozoku/b_seisaku/sanbanze/index-j.html

（担当：政策調整室三番瀬プロジェクトチーム TEL043-223-2439 FAX224-9026）

働く意欲と能力を持つ障害者を支援 / 障害者就業支援キャリアセンターを開設

県では、働く意欲のある障害者を支援するため、昨年12月に、地方自治体としては全国で初めて、「千葉県障害者就業支援キャリアセンター」を千葉市内に開設しました。センターでは、就業を希望する障害者やその家族、そして障害者を雇用している、あるいは雇用を予定している企業からのさまざまな相談に専門の相談員が応じています。今月20日からは、就業を希望する障害者に、挨拶、報告等の生活実習や共同作業等の就労準備実習も始めました。実習により、基本的な作業能力等を評価し、最も適した方向を提案します。また、就業企業に職場指導員(ジョブコーチ)を派遣し、障害者と企業との関係を調整して職場定着の支援を行ったり、就業先が決定していない障害者については、希望と適性に応じて、協力事業所でジョブコーチの指導による職場適応実習を実施するなどのサポートも行います。

ホームページ：http://www.pref.chiba.jp/syozoku/f_rousei/tpgy/szno/sscc.htm

〔 担当：商工労働部雇用労働課 TEL043-223-2933 FAX043-221-1180 〕
障害者就業支援キャリアセンター TEL043-204-2385

「ちばづくり県民コメント」指針を策定 / パブリック・コメント手続きを制度化

県はこのたび、県民の県政への参加をより一層促進させるために、「ちばづくり県民コメント制度(パブリックコメント)に関する指針」を策定しました。この制度は、県の基本的な計画や県民の権利や義務に関係のある条例案、広く公共の用に供される施設の建設計画などについて、その案を公表し、意見を募集するものです。意見募集の期間は概ね1か月程度、県は提出された意見を考慮した上で意思決定し、意見に対する県の考え方を公表します。従来も、県民生活に深く関係する重要な計画等については各部署がそれぞれ独自にその案を公表し、県民からの意見を参考に計画の策定を行ってききましたが、今回、指針を策定したことにより、その運用を統一化して、より一層の情報公開と県民参加を進めていきます。実施状況などについては県のホームページ等で一覧を公表し、わかりやすく県民に周知する予定です。

ホームページ：http://www.pref.chiba.jp/syozoku/b_kouhou/center/pubcom/sakutei.htm

(担当：総合企画部報道監 TEL043-223-2265 FAX043-227-3613)

観 光 / イ ベ ン ト

300万本の菜の花が咲いています / 鹿野山歩け歩け大会菜の花ウォーク



春の房総路 約8Kmを歩く第92回鹿野山歩け歩け大会菜の花ウォークが、2月29日(日)に開催されます(雨天順延3月7日)。富津市の佐貫小学校から宝竜寺、自然林道、中間地点の休憩所を経てマザー牧場までの自然いっぱいコースです。牧場には300万本の菜の花とかわいい動物たちが待っています。

参加費は、大人600円、4歳以上の小人500円(保険料とマザー牧場入場料含む)。ブルーベリージュースと搾りたての牛乳、記念ワッペン、JR缶バッジが参加者全員にプレゼントされます。また、マザー牧場では、2月1日から5月30日まで、ディスクドッグショーなどのワンちゃんとのふれあいイベントが楽しい「WONダブルフェスティバル」が開催されています。

ホームページ：<http://www.motherfarm.co.jp/event/familywalk.html>

(問合せ先：鹿野山歩け歩け大会実行委員会 マザー牧場内 TEL0439 37 3211)

ソフトウェアを販売します / 庶務共通の事務処理システム

県では、人事給与・福利厚生などの内部事務処理向けに開発した庶務共通の事務処理システムを、16年度から全国の自治体向けに販売します。県では行財政システム改革の一環として、県民サービスに直結しない事務処理コストの圧縮と適正で統一的な処理のためのシステム開発を行い、一昨年から部分的な運用を行ってきました。16年度からのシステム全面運用と「総務ワークステーション」による集中処理、事務のアウトソーシング化、処理対象職員の拡大

などにより、経費の削減効果を16年度13億円、17年度23億円、18年度には40億円と見込んでいます。これまでの運用成績も極めて良好で、全国の自治体からの視察や問い合わせが相次いでいます。他の自治体での利用に合わせたシステム変更も簡易で、他の自治体がこのシステムを活用した場合には、国全体の行政経費の削減と県収入の確保にもつながると考えられるため、来年度からソフトウェアの販売を行うことになりました。

(担当：総務課行政改革推進室 TEL043-223-2460 FAX043-225-1904)